

HANDS あかり 灯り通信・22

HANDSとは、Hanshin-Awaji Network for Disaster Survivorsの頭文字をとり
震災とそこから生まれた支え合う「こころ」を伝えひろげるため設立されました。

ごあいさつ 会員の皆さまいかがお過ごしでしょうか? 日頃認定NPO法人「HANDS」の活動についてご支援ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。2010年5月に「認定NPO法人」と認定されて半年が経ちました。これからも、あの震災の経験や想いを忘れることなく、震災とそこから生まれた支えあう「こころ」「いのちの大切さ」「生きていることのすばらしさ」を震災を知らない世代の人たちといっしょに考え、伝え続けて行きたいと思えます。これからも、みなさまのご理解ご支援をいただきますようよろしくお願い致します。灯り通信22号が出来上がりましたのでお届けいたします。

認定NPO法人 HANDS 理事長 上西 勇

鎮魂の歌声響く「1. 17希望の灯り」前 ～ドイツフライブルグ大聖堂少年合唱団～



希望の灯り前で歌うフライブルグ大聖堂少年合唱団のみなさん

9月1日、創立40周年の記念公演 ジャパンツアーのため来日した「ドイツフライブルグ大聖堂少年合唱団」一行(10～30歳の男性約60人)が、神戸公演のために神戸を訪れました。神戸公演に先立ち、午前11時、神戸三宮の東遊園地内の慰霊碑「1・17希望の灯り」の前で、2曲を合唱。

合唱団は、1995年と2002年の2度の日本公演で広島原爆ドーム前で原爆犠牲者への鎮魂の歌を合唱。その経験から、合唱団の一人が、神戸公演でも神戸の地震で亡くなった人の鎮魂のために歌いたいと希望して今回の希望の灯りの前での追悼の合唱が実現しました。

認定特定非営利活動法人(以下:認定NPO法人)資格を取得し、2010年5月1日より認定NPO法人 阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」として活動させていただくことになりました。

(2) 灯り通信22号

～ドイツ フライブルグ大聖堂少年合唱団 神戸公演～

神戸を訪れた合唱団、希望の灯り前での合唱終了後、「慰霊と瞑想の空間」内で黙とう。その後、上西理事長が、震災の概要を説明しました。質問の時間では、納得するまで質問する姿に話をした上西理事長は、感銘を受けました。その日の夜、神戸市中央区のカトリック神戸中央教会で行われた神戸公演では、合唱団メンバー11人が、阪神淡路大震災で犠牲になった人たちの鎮魂を願って、分灯された希望の灯りを灯した老僧くを手に入場。会場には、犠牲者に手向けのための花束が置かれていました。60名のメンバーによる礼拝堂に響き渡る天使のハーモニーは、私たちの心の奥深に届きました。メンバーの「亡くなった人たちへの鎮魂の思いと、生き残った人たちが幸せに暮らしてほしいという願いを込めて歌った」という言葉に胸が熱くなりました。暑い中、また、全国を回り疲れの残る中、震災犠牲者への鎮魂の歌を捧げて下った合唱団の皆様には、心より感謝いたします。



分灯する合唱団の子どもたち

第52回震災モニュメント交流ウォーク

～震災モニュメント交流ウォークを通じて防災に意識を～

初めての試み



9月26日(日)「第52回震災モニュメントウォーク 灘区西中央地区」を行ないました。午前10時、JR六甲道駅を出発。六甲風の郷公園(初) 都賀川の慰霊碑 下河原町の慰霊碑(初) 名も無き祠 琵琶町公園 六甲道南公園(初)へ。六甲道南公園での昼食後、交流会を行いました。会員の方から認定 NPO 法人取得のお祝いにといただいたお揃いの T シャツを初めて着て行なったウォークでした。

今回のウォークで初めて試みた『あっ!見つけた!!』は、予め指定した施設をウォークの中で探すことで、周りの建物や町並みに気をつけながら歩こうという企画です。日頃、家族で避難場所やその道のりについて話し合ったことはありませんか? 避難場所まで歩いた事がありますか? いつも歩いている道でも、災害時は一変しています。一度歩いて、近くに危険物が無いか? 建物の倒壊によって通れなくなることは無いか? を想像し、途中休憩できる公園・広場を探しながら、家族全員が安心して避難できるコースを2つ以上決めておいてください。そして、年2回程度、決めたコースの確認をしてください。その際、緊急避難持ち出し袋をもって、休憩時には緊急食を食べ、飲み物を飲んだりしながら「チョイトレ(ちょっとしたトレッキングの略)」気分で出かけてみて下さい。町並み探検を楽しみながら、家族で防災について話し合う機会を作ってみてはいかがでしょうか。

“チルドリン秋のママまつり”に参加!! (主催:NPO 法人チルドリン)



9月23日(木・祝)神戸ハーバーランドで行われた『チルドリン秋のママまつり in 神戸』に参加。子どもたちと折り紙やお絵かきを楽しみました。また、はるかのひまわりの種を配布したり、CD版モニュメントマップや米田理事作成の「歌で綴る 阪神・淡路大震災」のCDや1月17日に東遊園地の交流テントで配布した「震災や命の絵本を紹介した冊子」「15年の思いを綴った手記の冊子“今、この想いを未来の子供たちへ”」を紹介。

会場では、かみしばい「はるかのひまわり」が朗読され小さな子どもたちが、真剣に聞き入っていました。震災とは関係ない場所で震災の事を伝えることができたことは、私たちにとってとても大切なことだったと思います。お世話になった NPO 法人チルドリンのスタッフのみなさま、ありがとうございました。 ※お問い合わせは、事務局まで。



イラスト提供: ぷわぷわ。り

朝日新聞社からのインターンシップ学生の受け入れ

9月6日、朝日新聞社にインターンシップ経験で着ている学生4人が、HANDSのメンバーに話を聞きにきてくれました。希望の灯りや震災犠牲者の名前が刻まれている瞑想の空間の説明などの後、神戸東遊園地のモニュメントやメリケンパークのモニュメントを見学していただきました。学生のみなさんからいただいた感想を紹介いたします。



神戸・東遊園地にある瞑想の空間で学生に話をする白木理事

本日は、暑い中ありがとうございました。私は、震災のことはほとんど知らず、震災を伝える活動をされている方にお会いするのも初めてでした。自分が伝えたくても伝えられないと思っていました。今から震災を経験することはできません。震災そのものを伝えることは私にはできないことですが、命の尊さを伝えることはできます。希望の灯りにあったように震災を通じて得たもの「仲間」に私も加わりたいと感じました。私が震災の事を何か話す機会があれば今日感じたままの命の尊さを伝えたいです。

関西学院大学 田中友里絵さん

阪神淡路大震災での私の記憶というのは、当時4歳であったということもあり、わずかなものしか残っていない。小・中・高校と毎年一回思い出す機会や「はるかのひまわり」ということを知り、学校でひまわりの絵を描くといった団体での取り組みということがあったものの、個人で積極的に震災について知ろうということは少なかった。今日、白木さんとたかいさんのお二人にお話を伺い、心が動かされるものがあった。それは、私が理解することができない程の苦しみを背負って生きておられるということである。大きな苦しみ悲しみを今このように話をして頂いたことに心から感謝します。神戸女学院 細川佑衣子

神戸に住み、神戸で育った私にとっては、震災は身近なものでした。小・中学校では、毎年1月になると震災に関する学習が行われ、炊き出しなどのもありました。しかし、私は被害が小さい地域に住んでいたため、授業で習っただけで実際に現場に行ったことがなかったので身近な震災でも頭の中のイメージが中心でした。今日、東遊園地の各モニュメントやメリケンパークの地盤沈下がおこった所を巡り、震災に対する意識が変わったと思います。あまり記憶に残っていなくても自分なりに震災を知らない子供たちや他の地域、国の人々に震災が起こったことを伝えていきたいと思いました。亡くなった方々の分も毎日を大切に生き、今生きているという幸せを伝えていきたいと思います。そして、来年の1月17日には、つどいに参加したいと思います。本日は、お忙しい中私たちに時間を作ってくださいありがとうございました。

関西学院大学 船江弘樹さん

私は、阪神淡路大震災を実際に経験していないが、小・中・高校の過程で話を聞いたりビデオを観ることでどういったものだったのかを知っていたが、今回目と目が合う距離で話を聞き、震災を経験した人とその場所をめぐることによって私が、知っていたこと以上に事実は悲惨であり震災が与えたものは私が想像していた以上のものだった。いや、実際聞いても事実、起こったことを私には、想像がつかなかった。それでも話を聞くことで被害に遭われた方の気持ちを聞くことは、とても貴重であった。しかし、その反面こんな知識の浅い人間が被災者の方にインタビューをしているのかと取材の中で思わずにはいられなかった。話をされるとということは、思い出したくない事実を思い出さなければならぬ。私みたいな人間が、その心に踏み入ってよいものなのか、取材を終えた今でもその疑問は私の中で残ったままである。しかし、震災に遭われた方の「伝えていかなければならない」と何度も言われたあの言葉はたくさんの悲しみと向き合うことで出された言葉であると考えます。今、取材を終えた私はその言葉を頭におきながら自分の抱く疑問を常に心に共存させ、語りとして、聞き手として生きて行きたい今強く思う。神戸女学院大学 藤田奈央さん

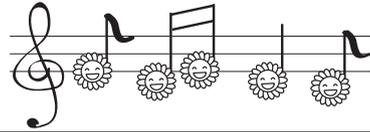
はるかのひまわりお絵かき会

～神戸市東灘区 住吉川東緑地公園～



写真提供：奈良県 千葉さん

5月に住吉川東緑地公園に植えたはるかのひまわり。今年も順調に成長しました。7月18日(日)には、「はるかのひまわりお絵かき会」を行いました。今年は、東灘区で造形・絵画教室「アトリエ太陽の子」代表の中島洋子先生と子供たちも参加してくださって、元気いっぱいのひまわりを描いてくれました。ありがとうございました。



はるかのひまわり in 佐用町

～兵庫県佐用郡佐用町～



去年の8月9日、水害に遭った佐用町。特産物のひまわり油用のひまわり畑も大きな被害を受けました。今年の春、復興を祈願して植えたはるかのひまわりも成長して皆さんの目を楽しませています。

※写真を提供してくれた“Co.to.hana”メンバーは、8月29日佐用町感謝のつどいにむけて、「水害について学んだこと」「佐用町のいいところ」のメッセージを集め、当日『シンサイミライノハナ』を咲かせました。

写真提供：Co. to. hana コトハナ <http://sinsai.exblog.jp/>

はるかのひまわり in 丹波

～兵庫県氷上町福田ひまわりの郷 おいやか村～



兵庫県氷上町福田ひまわりの郷 おいやか村のひまわりも、今年で3回目になりました。今年は、半分以上の種が鳥の被害に遭いましたが、こんなにたくさんのひまわりの花を咲かせることができました。



奈良のはるかのひまわり



奈良に住んでいらっしゃる「はるかさん」。知り合いから、「はるかのひまわり」の種をもらって、初めて『はるかのひまわり』の事を知りました。同じ“はるか”というなまえであることから親しみが

わき育て始めましたとのこと。こんな形で「はるかのひまわり」は、広がって言っていることを知りうれしいです。報告いただいた千葉さま、ありがとうございました。(写真提供：千葉さま)

はるかのひまわり種袋用イラスト 募集

はるかのひまわりの種と一緒に入れている説明の用紙に載せるイラストを募集しています。応募いただいたイラストの中から何種類かを選ばせていただきます。白黒印刷をしますので黒いマジックまたは、ボールペンなどではっきりとお描きください。

①郵便番号②住所 ③お名前 ④電話番号⑤メールアドレス ⑥ファックス番号を書いて下記の住所かメールアドレスにお送りください。を記入して 郵便または、メールに添付して最後のページに記載している HANDS 事務所まで。お送りください。

※締め切り：2010年12月10日必着

震災と若者 神戸芸術工科大学の学生が神戸ルミナリエの本来の趣旨をアピール

神戸芸術工科大学ビジュアルデザイン科の学生達が神戸ルミナリエの本来の趣旨を明確にアピールできればとルミナリエ開催期間中 会場の東遊園地内南東側にある「希望の灯り」周辺を“鎮魂ゾーン”とする「記憶のパフォーマンス(※)」を展開する。神戸芸術工科大学は、2008年神戸市から神戸ルミナリエ用のポスターなどのデザインの依頼を受けた。1年目の2008年はポスターやチラシグッズなどを制作、学生たちが自ら販売も担当した。その会場に遺影を持って参加する人がいるのを見て、ルミナリエがただの光のイベントではない、阪神淡路大震災からの復興と犠牲者の鎮魂のために始まったのだということを確認したという。ポスターは、慰霊やメモリアルをテーマに制作をしたが、会場は、鎮魂というよりもクリスマスの雰囲気漂っていた。そんな会場を目の当たりにしてこれでいいのかと疑問を抱いたという。そこで、2回目になる去年は、学生たちの発案で最終日に“鎮魂”の想いを込めた青いろうそくを「希望の灯り」周辺に灯した。今年は人と防災未来センター見学や HANDS メンバーからの震災体験を聞くことで、更に鎮魂のメッセージを強く発信したいと思い 今回の企画を計画することになった。

4 回生 K 君 姫路で被災。2 回目(3 回目?) HANDS メンバーの話聞いたとき、自分の経験とは比べ物にならないと思った。“1.17 のつどい”に参加した時に「震災はまだ終わっていない」と思った。自分にできることは何だろう? と考えた時に震災を知らない人に震災の事を知ってもらうことだと思った。ルミナリエに来た人たちに、慰霊のゾーンに来てもらって震災の事を知ってほしい。

3 回生 K さん 西宮市甲子園で被災。自分の中で震災の経験をしまいこんで過ごしてきた。HANDS のメンバーの話聞くことやルミナリエの企画のお手伝いをする中で、当時の事が、よみがえってきた。そして、あの時、自分も大きな被害に遭い死んでいたかもしれない中生きていたこと。そして、今、自分がここに存在していることが素晴らしいということを考えるきっかけになった。

3 回生 W さん 当時は加古川。2 回目 学内でルミナリエの光のオブジェのポスターを見て幼いころルミナリエを観に行っただけを思い出してこの企画に参加した。去年、会場でグッズ販売をしている時におばあちゃんと来てくれた男の子の「これ去年も売っていたね」と話しているのを聞いたときに小さい男の子がここに来ることで震災の事を知るきっかけになっていることを知り、震災を経験していなくても、このような形で震災を伝えることができることを知った。参加した人には、震災の事を知ることで、自分も災害に遭う可能性があることを考えてもらって少しでも命を落とす人が少なくなっしてほしいと思う。

※①市民・観客参加型の『記憶のモニュメント』オブジェ制作。
 ②『はるかかのひまわりの種』配布。
 ③最終日にブルーキャンドルを灯す。
 ④看護大学と大阪音楽大学による合唱や楽器の演奏を行なう『記憶のコンサート』。
 ⑤『記憶のコンサート』終了後、HANDS のメンバーが、震災体験を語る『語り部の会』。

3 回生 Y さん 当時は北海道。2 回目 ルミナリエのボランティアをしてルミナリエの存在を知った。点灯式に参加しルミナリエの光に感動。また、ルミナリエを通じて、震災で大切な人を失って今でもつらい思いでいる人がたくさんいることを知った。大切な人を失うことは、他人事ではなく、誰にでも起こる可能性があること、「明日は、わが身」になるということを考えてほしい。

3 回生 M さん 当時は大阪。初めての参加 東灘区祖父母の家が半壊。震災の事ある程度覚えていたつもりだったが、HANDS のメンバーの人たちの話を聞いたときに、15 年が経ち、随分、忘れてしまっていたこと気がついた。他の人にも 16 年前に起こった震災の時の事を改めて思い出してほしい、忘れないでいてほしい。私たちの企画が震災を思い出すきっかけになってほしい。

3 回生 S さん 神戸市東灘区で被災。ライフラインが止まったこと以外に大きな被害がなかった。当時は、自分のことで精一杯で他の地域の事を知る余裕もなかった。HANDS のメンバーの話聞いて、自宅の近くでも被害の大きかった場所があったことを知った。改めて震災当時の事をじっくりと考えるきっかけになった。

3 回生 W さん 当時は加古川。2 回目 去年、学内のルミナリエでのボランティア募集の案内ポスターを見て軽い気持ちで参加した。実際に参加してルミナリエは、他で行なわれている電飾のイベントとは違い、鎮魂の意味や震災から生まれた絆や繋がりを伝えるために開催されている。そのことを参加した人たちに伝えていきたい。

語り部活動

- ◆中部産政研
- ◆出雲市立平田中学校
- ◆羽曳野市立高鷲小学校
- ◆相生市立矢部川中学校

灯り清掃

- 7月17日(日)
- 8月15日(日)
- 9月12日(日)
- 10月17日(日)

～お知らせ～



米田理事が CD 作成しました
 「歌で綴る 阪神・淡路大震災」の CD が完成しました。この CD は、西宮市役所コスモスの詩合唱団が 15 年間続けてきた創作・演奏活動を総括するために作成したものです。あの大震災を伝え続けるために、お聞きいただける方に無料で送付しています。お申込は電話又は FAX で 0798-46-6614 米田まで

(6) 灯り通信22号

世界の名器『ストラディヴァリウス』を聴こう



東京カルテットによる室内楽演奏会（仮称）

～認定NPO法人 阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」チャリティーコンサート～

この演奏会は、『日本音楽財団（※1）』が、地方都市において、財団所有楽器と楽器貸与者による演奏会を開催し、たくさんの方に世界的文化遺産である弦楽器名器による演奏に触れる機会を提供するという目的で行なうチャリティーコンサートです。今回は、東京カルテット（※2）による弦楽四重奏。（※3）また、チャリティー先として、私たち HANDS を選んでいただきました。一人でも多くの方に名器と言われているストラディヴァリウスの音色に触れていただけたらと思います。

2011年2月17日 木曜日 19:00（開演）

会場：神戸文化ホール・中ホール（904席）全自由席

演奏：東京カルテット

第1ヴァイオリン（1927年製ヴァイオリン）：マーティン・ビーヴァー

第2ヴァイオリン（1680年製ヴァイオリン）：池田 菊衛

ヴィオラ（1731年製ヴィオラ）：磯村 和英

チェロ（1736年製）：クライヴ・グリーンズミス



主催	日本音楽財団・神戸市民文化復興財団・神戸新聞
特別協力	日本財団
協力	認定NPO法人 阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」
問合せ先	認定NPO法人 阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」

※1 日本音楽財団：この演奏会は、アントニオ・ストラディヴァリやガアルネリ・デル・ジェスによって製作された世界最高峰の弦楽器を収集し、それらを国の内外を問わず一流の演奏家や若手有望演奏家に無償で貸与する、いわゆる弦楽器名器の貸与事業を実施している財団。

※2 東京カルテット：米国ニューヨークを拠点に活動を続けている国際的に著名な弦楽四重奏団

※3 弦楽四重奏：ヴァイオリン属4本の楽器からなる合奏形態を指す。主に2本のヴァイオリン、1本ずつのヴィオラ、チェロによって構成される。

～ 震災・命のことを考える本の紹介～

「あの日をわすれない はるかちゃんのひまわり」

PHP研究所

作：指田 和子 絵：鈴木 びんこ



阪神大震災で妹を亡くした少女が妹を思わせるひまわりの花を咲かせることで救われていく。妹を亡くした少女の10年を描いたノンフィクション絵本。体育館での避難生活次第に生きる意

震災の時のことを全く覚えていない世代の娘に震災のことをわかりやすく伝えたいと、震災のこと命のことを親子で考えることができる本を探しました。ここではその時に会った本を紹介して行きます。震災から15年が過ぎた今絵本や本などを通じてもう一度、震災を知らない子ども達と一緒に震災・命について考えてみませんか。

欲を失い壊れかけそうになる家族、厳しい体験が続く。震災のあった年の夏に、はるかちゃんの亡くなった場所から、大輪のひまわりが咲いた。近所の人々が「はるかちゃんのひまわり」と呼んだことから、毎年そのひまわりの種を蒔く活動が広がった。妹を亡くした姉の視点で見た家族の悲しみとそこから歩きだしていく様子が綴られている。きょうだいを亡くした子どもたちの気持ちを考えるきっかけになる本。

HANDSご入会について

私たちの活動は、皆様からの会費とご寄付で運営されております。
HANDSの活動にご賛同してくださる方のご入会をお待ちしております。

ご入会方法

下記の郵便振替口座に、正会員又は賛助会員、お名前・ご住所・電話番号をご記入の上、年会費をそえてお申し込み下さい。会報、活動・イベントのお知らせを送らせていただきます。年会費はご入会から1年間有効です。

年会費

正 会 員	個人	10,000円	企業	1 口	10,000円
賛 助 会 員		1 口 1,000円	団体	1 口	10,000円

郵便振替口座名 & 口座番号

「希望の灯り」 01120-7-70117

正会員 89名 賛助会員 700名 企業会員 25社 寄付団体 37社 (平成22年9月30日現在)

ご入会・更新・ご寄付いただいた方々及び団体 平成22年6月1日～平成22年9月30日まで (敬称略)

会 費

浅井 鈴子 足立 由美 井出 八重子 今 英男 今井 澄江 岩田 美代子 上西 勇 上野 晴久 氏家 尚子 臼杵 玖美子 内田 洋一 内田 洋一 梅崎 芳枝 大川 りつ子 大西 きよ 大林 稔和 岡崎 俊太郎	岡本 妙子 奥仲 弘 奥仲 カオル 小椋 善彦 小田 綾子 片岡 綾子 鎌田 恭年 紙谷 豊 川瀬 喬 神田 弘 北村 すみよ 久保 敬 倉橋 正己 河本 甫一 小西 信之 小西 真希子 小林 正平 齋藤 敏彦	齋藤 敏彦 酒井 晴美 佐々木 高夫 指田 和子 佐藤 洋俊 佐野 欣子 東海林 節子 白井 喜美子 新開 悦子 新林 鍊昭 杉澤 廣行 高島 純子 高橋 貞美 千種 栄一 辻 美佐緒 辻 昭平 辻 由隆 津田 弘臣	寺原 清二 出口 寛 中井 恭子 中植 迪夫 中川 博 中島 喜一 中田 よし子 中場 道代 中村 昌子 西村 恵子 西村 あけみ 長谷川 すみエ 兵頭 賢 東川 泰一 久川 正博 福田 寿 藤本 節子 星野 剛	堀内 恵二 堀内 明子 本田 幸 前田 健二郎 前田 五郎 松浦 潔 松浦 美佐子 松田 正 松田 靖子 道田 公作 柳 みさを 山口 良一 山口 みや子 山下 須恵子 山中 敏夫 横野 善彦 横野 善彦 吉谷 わかな	吉田 弘行 米澤 光雄 米田 実 渡辺 真理子
--	--	---	---	--	----------------------------------

寄 付

飯塚 修三 池川 敏 井出 八重子 井上 茂樹 内田 洋一 大石 博子 奥野 昌彦 小椋 善彦 加林 洋子 北井 利治 木下 雅哉 窪田 実美 幸木 一乃 河本 甫一 小林 加祢子 近藤 孝子 兵庫 県立星陵高等学校同窓会	高井 優 高橋 シズエ 時任 徹壮 時任 徹壮 時任 直紀 土肥 幸雄 納谷 亮次 東馬 猛史 藤井 英雄 藤田 好子 宮尾 正敏 吉川 幸子 吉田 三千代 吉田 実 米田 敬子 米田 敬子
---	--

企業・団体

(株) エムズディーエ
岡本商店街振興組合
「はるかのひまわり」募金
神戸交通労働組合
神戸市秘書室
三宮センター街東通商店街
(株) ディ・オー
兵庫県臓器移植推進委員会

ご寄附ありがとうございました



正会員の三重県の木田洋子様から、認定 NPO 法人の資格取得のお祝い記念として HANDS T シャツを 100 枚、ご寄附いただきました。スタッフの方を中心に配布させていただきます。ありがとうございました。

応援ありがとうございます！

(株)アート・ファーマー あかね工房 (株)アロベラエンタープライズ 石光商事(株) エスケー食品(株) 江戸川ミニポンプ(株) (NPO法人) KOBE観光ガイドボランティア (NPO法人) 子供地球基金 (NPO法人) 西すず安心センター (NPO法人) 風の子たき (株)エフエルエス(社) 大阪ボランティア協会 大阪ガス(株) “小さな灯り” 運動事務局 (株)岡田金属工業所 川西銭太鼓幸の会 川西倉庫OB会三勤会 カンサイタバコショップ 関西プレスクラブ事務局 がんばろう世田谷 神戸市老人クラブ連合会 キリンビール(株) キリンビバレッジ (株)KSS神戸商大サービズ 熊本県「自然を愛する会」 神戸TownWedding 神戸武夷登山会 神戸風月堂西宮工場OB会 神戸大学ニュースネット委員会 神戸市保育園連盟 神戸市職員労働組合 神戸交通労働組合 神戸市道路公社 神戸市秘書室 (財)神戸市演奏協会 こころ鍼灸整骨院 金光教(岬教会・大開教会・長田教会・兵庫教会・葺合教会・福原教会・山手教会・駒ヶ林教会・布引教会・桜口教会・西近畿教務センター・神戸市教会連合収集活動グループ) 坂本自動車工場(株) 三宮センター街1丁目商店街振興組合 三宮センター街2丁目商店街振興組合 三宮センター街3丁目商店街振興組合 三宮センター街東通商店街協同組合 社会福祉法人大慈厚生事業会 社会福祉法人神港園 社会福祉法人絆福祉会 社会福祉法人千種会 社会福祉法人六甲福祉会 (株)JALUX 横浜雙葉学園アンナ会 シヤンティ国際ボランティア会 大慈保育園 ダイハツ40会 (有)高嶋機工 つぐみ保育園 (株)ディ・オー DBサービズ(株) 日興商会 豊島工業(株) (株)どりむ社 特別養護老人ホームヘルシーピラ加美 21世紀歯科医師ボランティアグループ 繁栄自治会 (財)阪神・淡路大震災記念協会 (株)PHP研究所 カフェ「ひげおやじ」 ひまわりウェブ事務局 (株)ビューティ・ヘルシーアンドゴールドロサコスメティック フェニックス・ひのくち フェスティバロ カフェ「ブルー・ノート」 (財)プロファクトリー (株)ベイエリア 北斗会 (株)マイスター大学堂 六甲山水の祭典実行委員会 吉野建設(株) 元栄海4丁目親和会 元栄海4丁目町内会 元町1番街商店街振興組合 元町3丁目商店街振興組合 元町4丁目商店街振興組合 元町5丁目商店街振興組合 元町6丁目商店街振興組合 モリモトマサ硝子 門口自治会 UNN関西学生報道連盟 フォックスブルー(株)

第53回

震災モニュメント交流ウォーク

平成22年11月14日(日)

集合場所：阪急逆瀬川駅東口

時間：9時15分から 出発時間：10時



コース (予定)

阪急逆瀬川駅東口 ⇒マップNO.4 宝塚神社

⇒マップNO.3 ゆずり葉緑地(逆瀬川より 宝塚西高校まで阪急バス利用)

⇒マップNO.22 かぶとやま荘(宝塚西高校より かぶとやま荘まで阪急バス利用)

⇒現地にて解散(14時頃の予定) バス代は、各自でお願いします

※かぶとやま荘では、お風呂を利用することができます(人数制限有り)。当日は、どなたでも利用できる特別な日ですので お楽しみください。

逆瀬川方面は 15:26の阪急バスを利用(最終便)

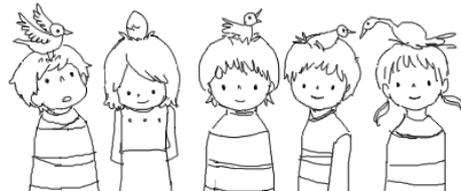
阪急夙川、JRさくら夙川、JR西宮 阪急西宮北口方面は、14:25 15:15 16:10のさくらやまなみバス

- ★時間厳守 ★参加無料 申し込み不要 途中参加OK
- ★雨具・お茶・昼食等は、各自で用意ください ★入浴される方は、その準備
- ★雨天決行(警報発令時は中止します) ※コースは、都合により変更することがあります。ご了承ください

◆ ◇ 募 集 ◇ ◆

私たちの活動を支援して下さる

メンバーを募集しています!



HANDSは、NPO法人から認定NPO法人になり今まで以上に皆さまのご支援を必要としています。常時スタッフや行事ごとのスタッフとしてお手伝いして下さる方を募集いたします。毎回の参加でなくても大丈夫です。“できる人ができることをできる時に!”それが私たちの活動の原点です。ご協力お願いいたします。

【募集内容】

①正会員 および 賛助会員 郵便振替口座名&口座番号 「希望の灯り」 01120-7-70117

年会費	正 会 員	個人	10,000円	企業	1口	10,000円
	賛 助 会 員	個人	1口	1,000円	団体	1口 10,000円

②広報(灯り通信発行 HPの作成 通信の発送や配布 HANDSの活動の紹介)や運営上必要な業務の補助など、HANDSのスタッフとしてお手伝いして下さる方。

③毎年、1月17日に神戸市中央区で行われる追悼行事「1.17のつどい」や震災モニュメントウォーク、防災キャンプなどの企画やイベントのスタッフとしてお手伝いして下さる方。

④震災を後世に語り継ぐため、防災や震災モニュメントウォークなどの活動費としての資金をご支援をして下さる方。(①の年会費と同じ口座に備考欄に「寄附」と明記しお振り込みをお願いします。)

⑤携帯メルマガ

⑥その他

お手伝いをして下さる方は、以下の内容にそって必要事項を書き込んで、ファックス、メールにてご連絡をお願いします。 FAX:078-682-1227 E-mail: handsakari@msn.com

認定特定非営利活動法人 阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」

〒652-0865神戸市兵庫区小松通3-2-1 真川ビル2階

TEL:078-682-1117 FAX:078-682-1227 E-mail: handsakari@msn.com

ホームページ <http://www1.plala.or.jp/monument/>

ブログ <http://117kibou.cocolog-nifty.com/blog/>